

草の根技術協力（支援型）案件概要表

I. 事業の概要	
1. 対象国名	コスタリカ
2. 案件名	コスタリカ国 観光地であるポアス火山周辺における住民主体の“火山マイスター”(火山減災リーダー)の育成
3. 事業の背景と必要性	コスタリカにあるポアス火山は、国立公園であり風光明媚な火山をもち、エコツーリズム等の観光産業も盛んである。そのため、観光客数も増加傾向にある。しかしながら、ポアス火山は活発な火山活動で知られており、観光を生業とする住民及び観光客の生命を守る取組を並行して実施する必要がある。避難壕等のハード整備が進む一方、住民等の火山災害に対する防災意識やその取組は十分とは言えず、次の噴火に備えた減災リーダー的存在の育成と安全な観光地の確立は喫緊の課題である。
4. プロジェクト目標	住民及び観光客が、ポアス火山の噴火リスクと恵みを平時から意識できるよう、観光地であるポアス火山周辺で住民主体の火山マイスターを育成する仕組みを CNE に提案する。
5. 対象地域	アラフエラ県 ポアス火山周辺及びポアス市、アラフエラ市及びグレシア市
6. 受益者層 (ターゲットグループ)	直接的受益者：ポアス火山地域の住民、特に国立公園レンジャーと住民ボランティア「地域防災委員会」（計 20 人） (間接的受益者：Alajuela 州都周辺約 18 万人)
7. 生み出すべきアウト プット及び活動	<アウトプット> アウトプット 1 : 火山マイスターが継続的に利用可能な啓発素材が作成される。 アウトプット 2 : 啓発素材を基に、火山マイスター候補者から（第一世代）火山マイスターが育成される。 アウトプット 3 : 認定された（第一世代）火山マイスターが、啓発素材を基に、次世代火山マイスターを持続的に育成するパイロットプログラムが実施される。 <活動> 1-1. 火山のリスクを伝えるための啓発素材に必要な火山ハザードマップと噴火の警報等の資料を収集する。 1-2. 観光事業者から観光客にも周知できるような啓発素材を作成する。 2-1. 国立公園のレンジャーと地元のボランティア「地域防災委員会」から火山マイスター候補者を選出する。 2-2. 火山マイスター候補者を対象に火山マイスター育成のための研修会を、コスタリカ大学と協力して実施する。 2-3. （第一世代）火山マイスターの認定を行う。 3-1. （第一世代）火山マイスターを対象とした本邦研修を実施する。 3-2. （第一世代）火山マイスターによって、次世代火山マイスター育成のためのプログラム案が作成される。 3-3. 多様な背景の住民等に参加してもらうよう促し、インクルーシブの視点を組み込んだ、次世代火山マイスター候補者を選定する。 3-4. （第一世代）火山マイスターが、次世代火山マイスター希望者に向けた研修会を 1 回実施する。

	3-5. 次世代（第二世代）火山マイスターが認定される。 3-6. 第三世代以降の火山マイスター育成プログラム案が作成される。 3-7. 火山マイスター育成プログラム案を CNE に提出する。
8. 実施期間	2025 年 3 月～2027 年 2 月（2 年）
9. 事業費概算額	10,692 千円（合理的配慮費用含む）
10. 相手国側実施機関 （カウンターパート）	コスタリカ国家災害対策緊急委員会（CNE : Comisión Nacional de Prevención de Riesgos y Atención de Emergencias, Costa Rica.） コスタリカ大学（UCR : Universidad de Costa Rica）
II. 団体の概要	
1. 実施団体／指定団体	学校法人北翔大学（協力機関：NPO 法人火山防災推進機構）
2. 主な活動内容	学校教員及び保育者、社会教育主事、社会教育士、などの生涯学習を支える人材に加え、生涯にわたる心身の健康づくりをサポートする人材など、広く社会に貢献できる人材の育成をおこなっている。